

ハタラクิเมデス hatarakimesesu

TAKE FREE

第4号

2006・Autumn

「ハタラクิเมデス」は企業のご協力をいただきながら、学生が取材・編集している就職に関する情報誌です。

みやぎジブカフェ・マガジン【ハタラクิเมデス】

先輩に聞け！ 仕事の 面白さって、 なんだろう？

仕事の本当の面白さは、外からでは決してわからない。
経験してみても、初めて見えてくるもの。
先輩たちも、そうだった。
どんな職種にも苦労はあるものの、
それを乗り越えた時には喜びや感動が待っている。
大切なのは、面白い仕事を見つけるのではなく、
その仕事の面白さを感じるまで経験を積むことなのかもしれない。

5 ハタラクิเมデス 第4号

大変な仕事こそ楽しむことが大切

うちみ あつし
内海 厚 さん

●株式会社ケディカ 総務部 ユニットリーダー（入社12年）

「ケディカ」は、最先端のめっき処理加工を主力とする総合表面処理メーカー。特に半導体や自動車の電装部品などのめっき処理については、国内でトップクラスの技術力を誇っている。内海さんが勤務する総務部の仕事は、文字通り、総務の務めであり、その業務範囲は幅広い。書類の作成や各種手続きをはじめ、工場設備の管理、資材の手配業務、広報など、挙げれば切りがないほどだ。

**確実に実感できる
仕事の手応え**

「単調なデスクワークというのは、昔の話ですね」。社内の中核として柔軟に働くマルチプレイヤー。それが、現在の総務部の役割なのだ。

**仕事を面白くするのも
しないのも自分次第**

「同じ仕事をするなら、できるだけ楽しんでやりたい」というのが内海さんの持論。以前、ホームページのリニューアルを担当した時も、専門的な知識はほとんどなかったもののホームページ製作に積極的に挑戦。「外部の講座で基礎は学びましたが、それ以外は独学ですね。大変でしたけれど、自分のスキルを上げるチャンスと前向きに考えて取り組みました」。その結果、リニューアル後はアクセス数が飛躍的にアップするとともに、業界が主催するコンクールでは準グランプリも受賞している。

また、大手メーカーを対象とした自社製品の展示会では、「宝石のように製品を飾る」というアイデアで、関係者の注目を集めたそうだ。

このように会社では多様な業務をこなす内海さんだが、プライベートも夏はサーフィン、冬はスノーボードとアクティブ。「仕事を忘れたい気分転換になります」。結局、仕事も人生も、面白くするのは自分次第なのかもしれない。



「どの仕事も様々なことは、面白さはわからない」。技能者として入社した内海さんだが、その考えは総務部に移動しても一貫している。



株式会社ケディカ ■ 仙台市泉区明通3番20号 TEL.022-777-1351（代表）